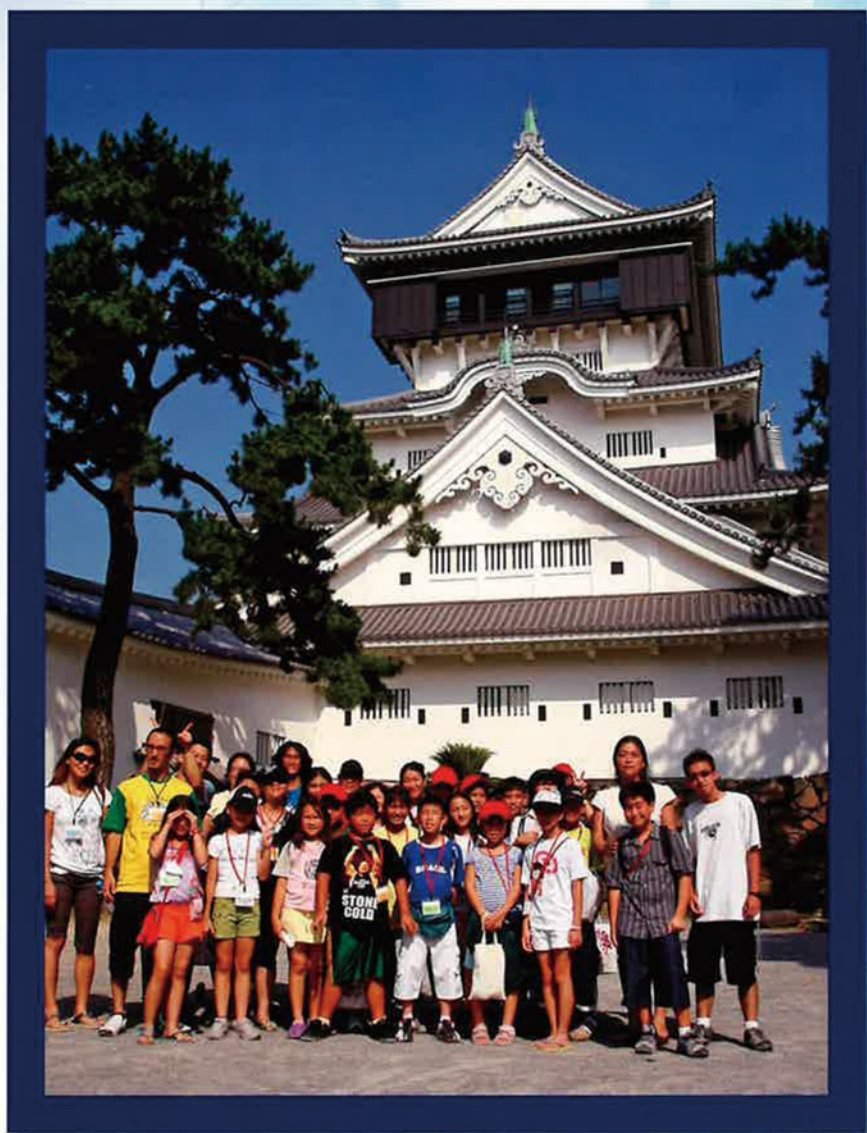


平成20年度

海外福岡県人会子弟招へい事業

報告書



●期 間●

平成20年7月12日(土)～24日(木)

●主 催●

海外福岡県人会子弟招へい事業実行委員会



目次

CONTENTS

- はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 知事あいさつ・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- 概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- 参加者名簿・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
- 全体プログラム日程・・・・・・・・・・・・ 6
- プログラム内容・・・・・・・・・・・・ 7
- 総評・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
- 参加者レポート／子弟・・・・・・・・・・・・ 15
- 参加者レポート／引率者・・・・・・・・・・・・ 34
- 参加者レポート／県費留学生・・・・・・・・・・・・ 39
- 引率者会議議事録・・・・・・・・・・・・ 45
- 福岡県の海外県人会・・・・・・・・・・・・ 46
- 実施要綱・・・・・・・・・・・・・・・・ 47
- マスコミ取材等・・・・・・・・・・・・ 48

はじめに

平成20年度海外福岡県人会子弟招へい事業参加者として、5ヶ国から25名の皆さんが福岡県に来られました。

来日当初、皆さんとお会いしたときは、これから始まる日本での生活に少し不安そうな表情が見えましたが、一緒に参加した海外の仲間との和や関係者の方々の温かいご支援のおかげで、日本の文化や習慣になれることができたのではないかと感じております。

参加者の皆さんは、九州国立博物館、日産自動車九州工場等を視察したり、和太鼓、和ごま、南京玉すだれなどの日本文化の体験をしたり、さらに、大島小学校やホストファミリーの皆さんとの交流、またご親戚宅にホームステイした子供たちは、久々に会った親戚との交流を深めることができました。

このプログラムを通して、皆さんはたくさんの友人を得ることができたでしょう。友情は貴重な財産となります。福岡で得たこの財産を大切にしながら、日本とのさらなる友好親善のために活躍していただきたいと思います。

参加者の皆さんが事業終了後も福岡で得た知識や経験を通じて培ったネットワークを活かし、今後は母国で県人会活動の核として取り組むことは意義深いことであり、本実行委員会としても、こうした活動を支援してまいります。

最後に、本事業の実施にあたりご協力いただきました海外福岡県人会、県費留学生、ホストファミリーの皆様及び関係機関に、心から御礼申し上げるとともに、この事業の今後さらなる発展にご支援いただきますようお願い申し上げます。

平成20年12月

海外福岡県人会子弟招へい事業実行委員会
実行委員長 西原 徹

ごあいさつ



福岡県から海外に移住した方々およびその子弟等で組織する「海外福岡県人会」は、世界9カ国、21カ所に設置されています。グローバル化の進展により地域間交流の重要性が増す中、本県と移住国との交流の窓口である海外福岡県人会は、本県の国際化の進展にとって貴重な財産です。

一方、県人会では、会員の高齢化や世代交代が進むとともに若い世代の県人会に対する関心も薄れ、会員の減少や活動の停滞が懸念されています。このような中、県人会がさらに発展していくためには、活動の核となる若手人材の育成が不可欠となっています。

県人会においては、ホームページにおける青年活動の紹介や太鼓クラブの創設、子供たちへの日本語での読み聞かせなどさまざまな活動を通じ、後継者育成に取り組んでおられます。本県としましては、留学生の受け入れや県人会活動への助成、周年事業への参加などにより、活動を支援しているところです。

また、本県では、県人会を支援する新たな取り組みとして、今年度から、県人会の子弟を福岡に招へいする事業を始めました。日本文化や本県の青少年との交流を通して、福岡に対する興味・関心を持ち、理解を深めていただくものです。事業に参加した子供たちが、福岡県出身者の子弟であることを誇りに思い、将来、県人会活動の核として活躍していただくことを大いに期待しています。

本事業の実施にあたりご協力いただきました関係機関および海外福岡県人会の皆さまに深く感謝を申し上げますとともに、若い世代の育成に今後もお尽力いただきますようお願いいたします。

平成20年12月

福岡県知事 麻生渡

概 要

1 目 的

海外福岡県人会会員の子弟を福岡県へ招へいし、様々な体験を通じ、福岡・日本に対する関心や興味を高め理解を促すことにより、今後の県人会活動の一翼を担い、福岡・日本との交流の核となる後継者を育成すること、併せて県人会の活性化を図ることを目的としています。

2 期 間：平成20年7月12日(土)～24日(木)

3 招へい者人数：5カ国25名 【内訳：子弟18名、引率者7名】

国 名	子弟招へい数	引率者数
ボリビア共和国	3	1
ペルー共和国	2	1
ブラジル連邦共和国	9	3
アメリカ合衆国	3	1
コロンビア共和国	1	1
合 計	18	7

4 内 容

(1) 同年代の子供たちとの交流

大島小学校、和太鼓少年グループ、和ごま少年グループ、アジア太平洋こども会議参加者との交流

(2) 福岡の魅力に触れる

日産自動車九州工場、ロボスクエア、福岡市内視察(山笠見学)、北九州市内視察(小倉城見学)、太宰府天満宮、九州国立博物館、新幹線乗車、野球観戦等

(3) ルーツを探る

親戚宅、福岡県海外移住家族会員宅へのホームステイ

(4) 日本文化の体験

日本語学習、南京玉すだれ、和太鼓、和ごま体験

5 主 催

「海外福岡県人会子弟招へい事業実行委員会」

構成団体：福岡県新社会推進部国際交流局交流第二課、福岡県新社会推進部青少年課、
福岡県教育庁教育振興部義務教育課、(財)福岡県国際交流センター

事務局：(財)福岡県国際交流センター

参加者名簿

【子弟】

No.	招へい者氏名	年齢	性別	国籍	グループ
1	緒方 スサナ 優	11	女	ボリビア	A
2	徳永 アレハンドロ 勇一	11	男	ボリビア	
3	松本 悠 アンドレア	12	女	ボリビア	
4	やまむら ホルヘ	11	男	ペルー	B
5	シマブクロ トミナガ アレクサンデル	11	男	ペルー	
6	新地 愛美	10	女	コロンビア	
7	秋吉 ジュリオ 眞次	11	男	ブラジル	C
8	蛸原 栄美 レチシア	11	女	ブラジル	
9	田中 メリサ	11	女	ブラジル	
10	三坂 バーバラ	10	女	ブラジル	D
11	山下 ラファエル カ	11	男	ブラジル	
12	平田 田場 恵美 キンベリー	11	女	ブラジル	
13	柳原 城崎 りえ タイス	11	女	ブラジル	E
14	メンデス 三坂 ジョヴァンナ	11	女	ブラジル	
15	山田 恵理	10	女	ブラジル	
16	野中 玲那	10	女	米国	F
17	堀 絵美理	11	女	米国	
18	堀 太平	10	男	米国	

【引率者】

No.	招へい者氏名	性別	国籍	グループ
1	宮園 昭生	男	ボリビア	A
2	イシカワ コバヤシ デビッド	男	ペルー	B
3	手島 陽子 マリア オルガ	女	コロンビア	
4	古賀 寿美 エヴェリネ	女	ブラジル	C
5	辻沢 法泉	男	ブラジル	D
6	梶本 さくら デニーゼ	女	ブラジル	E
7	チョウ シャオ チン	女	米国	F

【県費留学生】

「県費留学生とは…」 { 専門の知識と、日本、そして福岡県についての理解を深めるために、
福岡県内の大学に1年間留学している海外福岡県人会の子弟。

No.	県費留学生氏名	性別	国籍	グループ
1	仁田原 優	女	ボリビア	A
2	仲宗根 紗織	女	メキシコ	B
3	ヒグチ マツダ ジュリアナ アンドレア	女	ペルー	
4	角 イザベラ 茜	女	ブラジル	C
5	木村 啓 デニス	男	ブラジル	
6	松田 前田 パウラ	女	ブラジル	D
7	芭蕉 宏美 アリーネ	女	ブラジル	
8	加藤 協 アレックス	男	ブラジル	E
9	宍戸 達朗	男	米国	F
10	カプラン ロイ	男	アルゼンチン	

活動グループ

A Group

子弟：緒方
徳永
松本
引率者：宮園
県費留学生：仁田原

B Group

子弟：やまむら
シマブクロ
新地
引率者：イシカワ
手島
県費留学生：仲宗根
ヒグチ

C Group

子弟：秋吉
蛸原
田中
引率者：古賀
県費留学生：角
木村

D Group

子弟：三坂
山下
平田
引率者：辻沢
県費留学生：松田
芭蕉

E Group

子弟：柳原
メンデス
山田
引率者：梶本
県費留学生：加藤

F Group

子弟：野中
堀(絵美理)
堀(太平)
引率者：チョウ
県費留学生：宍戸
カプラン

全体プログラム日程

期 日	時 間	内 容	宿泊場所
7/12 (土)		入 国	グローバルアリーナ
13 (日)	夕 方	オリエンテーション	グローバルアリーナ
14 (月)	午 前	県知事表敬 県議会議長表敬	グローバルアリーナ
	午 後	福岡市内見学	
	夕 方	歓迎会	
15 (火)	終 日	大島小学校との交流	グローバルアリーナ
16 (水)	午 前	日産自動車九州工場見学	めかり山荘
	午 後	北九州市内見学	
17 (木)	午 前	新幹線乗車体験	ホテルグランティア太宰府
	午 後	ロボスクエア見学 福岡タワー見学	
18 (金)	終 日	日本文化体験	ホテルグランティア太宰府
	夕 方	太宰府天満宮 九州国立博物館見学	
19 (土)	午 前	引率者会議	ホームステイ
	午 後	パフォーマンスステージの参加 (※アジア太平洋こども会議事業) ホームステイ先との対面式	
20 (日)	終 日	ホストファミリーとの交流	ホームステイ
21 (月、祝)	終 日	スポーツ交流イベントへの参加 (※アジア太平洋こども会議事業)	ホテルグランティア太宰府
22 (火)	午 前	県立青少年科学館見学	ホテルグランティア太宰府
	午 後	和太鼓少年グループとの交流	
	夜	野球観戦	
23 (水)	午 前	和ごま少年グループとの交流	ホテルグランティア太宰府
	午 後	福岡市内見学	
	夕 方	送別会	
24 (木)		出 国	

プログラム内容

平成20年7月12日(土)～24日(木)

<p>第1日目</p>	<p>12日 (土)</p>	<p>◎入国 5カ国(ボリビア・ペルー・ブラジル・アメリカ・コロンビア)から子弟18名、引率者7名が来福しました！</p>   <p>県費留学生による出迎え 子供たちの到着</p>
<p>第2日目</p>	<p>13日 (日)</p>	<p>◎オリエンテーション メンバーの自己紹介のあと、滞在中の諸注意を皆で確認しました。また、福岡県や日本語についても一緒に学習しました。</p>    <p>12～15日まで宿泊した グローバルアリーナ ドッジボール対決 夜は花火を楽しみました</p>
<p>第3日目</p>	<p>14日 (月)</p>	<p>◎午前：麻生福岡県知事表敬訪問&貞末福岡県議会議長表敬訪問</p>     <p>麻生県知事表敬にて 麻生県知事と記念品交換 貞末議長をはじめ県議会議員の皆さんと一緒に 県議会議場にて</p>

第4日目

15日
(火)

◎午後：福岡市内見学

櫛田神社、博多町屋ふるさと館、川端商店街など、博多の町を散策。また、博多の夏の風物詩・博多祇園山笠の山車も見ることができました。



金魚すくい体験



博多祇園山笠



博多町屋ふるさと館

◎夕方：歓迎会

歓迎会には、家族会から武藤会長をはじめ、会員の皆さんもいらっしゃいました。



◎大島小学校との交流

大島小学校の心温まる歓迎を受け、クルージングや折り紙交流、学校給食の試食、さらには大島の伝統行事である山笠を体験しました。



歓迎の様子



島内クルージング



折り紙交流



大島山笠体験

		 <p>グローバルアリーナ施設内で</p>  <p>夕食はバーベキュー</p>
<p>第5日目</p>	<p>16日 (水)</p>	<p>◎午前：日産自動車九州工場見学 京都郡苅田町にある日産自動車九州工場は日産自動車の主力生産工場のひとつです。</p>   <p>◎午後：北九州市内見学 小倉城見学の他、ショッピングモール“リバーウォーク北九州”で買い物をしました。</p>  <p>小倉城内にて</p>  <p>この日は門司区の“めかり山荘”に宿泊</p>
<p>第6日目</p>	<p>17日 (木)</p>	<p>◎新幹線乗車体験 小倉～博多まで約16分間、新幹線“のぞみ99号”に乗車しました。</p>  

第7日目

18日
(金)

◎福岡市内見学



ロボスクエア



福岡タワー



福岡タワーの前で

◎午前～午後：日本文化体験（南京玉すだれ）

“南京玉すだれ”は、「ア、サテ」と唱えながら、竹と糸でできた道具を使って、形を表現する日本の代表的な大道芸の一つです。この和製マジックに子供たちが挑戦しました！



“南京玉すだれ”を教えてくれた
松花堂気楽先生



鯉のぼりの出来上がり！

◎夕方：太宰府市見学

九州国立博物館と太宰府天満宮を見学。太宰府天満宮は菅原道真を祀る天満宮の総本山で、“学問の神様”として知られているところです。



波をイメージした屋根など斬新なデザインの九州国立博物館。国立の博物館としては東京、奈良、京都に次いで4館目です。



九州国立博物館
体験型展示室“あじっば”



太宰府天満宮



手水舎にて

<p>第8日目</p>	<p>19日 (土)</p>	<p>◎午前：引率者会議(詳細は、引率者会議議事録参照) ◎午後：パフォーマンスステージの参加</p> <p>アジア太平洋子ども会議事業の「パフォーマンスステージ」に参加しました。 パフォーマンスステージでは、日本文化体験で学んだ「南京玉すだれ」に挑戦しました!</p>  <p>“あ、さて、さて、さてさてさて、さては南京玉すだれ”</p>  <p>“枝垂れ柳と早変わり!”</p> <p>◎夕方：ホストファミリーとの対面式</p>
<p>第9日目</p>	<p>20日 (日)</p>	<p>◎ホストファミリーとの交流</p>
<p>第10日目</p>	<p>21日 (月)</p>	<p>◎スポーツ交流イベントへの参加</p> <p>国際センターで開催されたアジア太平洋子ども会議事業20周年特別事業「子ども交流イベント」に約650名の子どもたちが集まり、会場内は熱気に包まれました!</p>  
<p>第11日目</p>	<p>22日 (火)</p>	<p>◎午前：福岡県青少年科学館見学</p> <p>福岡県青少年科学館は、久留米市にある「地球」をテーマにした県内唯一の科学館。飛行機の疑似操縦など、遊びながら体験し、科学を学ぶことができます。</p>  

		<p>◎午後：和太鼓少年グループとの交流</p> <p>青少年の健全な心身育成を目的に博多祇園山笠をモチーフに結成された“博多おっしょい太鼓”の皆と一緒に日本伝統芸能「和太鼓」を体験！</p>  <p>合同練習 博多おっしょい太鼓と</p>
	<p>第12日目</p> <p>23日 (水)</p>	<p>◎夜：福岡Yahoo! JAPANドームでの野球観戦</p> <p>福岡ソフトバンクホークス VS オリックス・バファローズ</p> <p>この日は“鷹の祭典”の日で観戦者には全員Tシャツが配られました！</p> 
<p>最終日 第13日目</p> <p>24日 (木)</p>		<p>◎午前：和ごま少年グループとの交流</p> <p>太宰府天満宮境内で、「福岡県和ごま競技普及協会」の青少年たちと“和ごま”を通しての交流。こま回しは思ったより難しかったかな！？</p>  <p>どうやって巻くのかな？ 和ごま少年グループと</p> <p>◎夜：送別会</p> <p>ホストファミリーの他、和ごま少年グループのお友達も送別会にきてくれました。</p> <p>◎出国</p> <p>見送りには、県議会議員、家族会、ホストファミリーの皆さんもいらっしゃいました。</p> 

子弟招へい事業プログラムについて(事業の総評)

この事業は、参加した子供たちが、①同年代の子供たちとの交流 ②福岡の魅力に触れる ③ルーツを探る ④日本文化の体験 等を経験することで、福岡・日本に対する興味を深め、さらに県人会活動を益々活発に行っていくためのリーダーとして育ててもらおうことを目的としている。

約2週間の福岡滞在中には、様々なプログラムが用意されたが、事業後に実施したアンケートによると大島小学校での折り紙やゲーム、山笠参加、そして県内の子供たちとの和太鼓、和ごまの体験が好評で、視察・見学よりも実際に体験するプログラムの人気が高かった。その他、プログラムの中には、親戚宅や福岡県海外移住家族会会員宅、ホームステイボランティア宅への2泊3日のホームステイもあり、「祖父母や親戚と一緒に、自分のルーツを体験できてよかった」「自信、誇りを持った」などの感想を多く得た。

また、各県人会から福岡に留学に来ている県費留学生は、このプログラムの期間中、子供たちのお兄さん、お姉さんとなり、身の回りの世話をしたり、言葉のサポートをしたりして、子供たちの大きな力、支えとなっていた。プログラム終盤には、この両者間に絆や、連帯感が生まれ、子供たちの帰国後もメールのやり取りなどが行われている。子供たちがこの県費留学生と交流することは、この2週間で学べなかったことをこれから、県費留学生から学び、この交流が、ひいては、県人会の次の世代の担い手として、脈々とつながっていくであろうと期待される。

このプログラムの参加者募集については、11歳を対象にしていたが、各県人会の現状を考慮し、途中から対象を10歳から12歳までとした。参加人数においては、当初予定した30名から、「対象者がいない」「対象者がいても、親が子供を日本に行かせることを心配している」「対象者がいても都合で参加できない」など各県人会からのさまざまな理由により18名の参加となった。今後、さらなるPR活動をし、プログラムの周知と理解を図り、多くの子供たちの参加を促すことが重要である。

このプログラムには子供たちを中心に、引率者、県費留学生、各県人会、家族会、そして子供たちの保護者と多くの人に関わった。プログラムを通して、子供たちの考え方が変化した様子は、この全ての関係者に大きな影響を与え、単に子供だけのプロジェクトで終わらず、多くの人に関心を得る大きな成果となった。

参加者等の感想

●子供たちからの感想

- ・ お父さん、お母さんと離れて色々な事を自分でしてみたことで、自信がついた。
- ・ たくさん勉強して県費留学生になって日本にまた行きたい。
- ・ 今まで経験したことない独楽、花火、大島での水遊びを経験した。
- ・ 日本に行き、日本を知る夢が叶った。最初はホームシックになったが、段々と慣れ友達をたくさん作ることができた。
- ・ 日本は想像していたのとは違ってビックリした。楽しいことがたくさんあった。
- ・ 日本で見た太鼓は、私が習っているのとは、比べものにならないくらいすごかった。リズムが全然違っていた。あのリズムが毎日、頭の中に浮かんでくる。
- ・ 世界の色々な国の子供たちと友達になった。



●保護者からの感想（帰国した子供の様子から）

- ・ 自立心が芽生えた。
- ・ 子供の言動より、日本が身近に感じるようになったということが見て取れる
- ・ 子供が、日本に行って、日本語や文化の大切さを知り、日本に興味をもった。また行きたいと言っている。
- ・ 祖父母の故郷を見ること、親戚に会えること、祖先が生まれた日本を見学、そして文化や技術に出会えたことは素晴らしいこと。日本とブラジルがだんだん近くなるように子供と日本語を勉強したい。
- ・ 子供がとても大人になって帰ってきた。わずか2週間で1年分の成長をしたかのよう。日本で自分の故郷について知り、その事に誇りをもった。父親に対する尊敬の気持ちが以前より大きくなった。
- ・ 空港に降り着いた子供の姿を見たとき、顔に自信があふれているのに驚いた。



●県人会からの感想

- ・ 日本・福岡県に若い人たちが関心を持つ良い事業である。
- ・ この事業の発案に母県の県人会の将来に配慮された温かい思いやりを強く感じた。
- ・ この事業の趣旨に理解を示し、期待する意見が多かった。
- ・ この事業を始めたことにより、県人会会員の家族構成の把握等、名簿の整理や県人会未加入の県人調査を実施した。

参加者レポート 子弟



A Group

ボリビア福岡県人会

緒方 スサナ 優

OGATA SUSANA YUU

プログラムの内容で一番思い出に残ったこと、楽しかったことは？

思い出: 大島に滞在して、祭りに参加。楽しかった: 東京タワー、知多、天神
Que me quedo en recuerdo es: que fuimos Oshima gacco
me quedo en recuerdo.
lo que mas era divertido es: que fuimos a TOKIO TAWA tambien
que jugamos con comé tambien tambien

「プログラムで得たこと・学んだこと」

初めて日本に行きました。

福岡県には、他の国の子供たちより一日遅れて着きました。次の日からみんなと一緒に市内観光で色々な工場の見学と忙しい毎日を送りました。とても勉強になりました。私が一番すごいなあと思ったのはロボステアを見学したことです。私にもロボットが作れたらいいなあと思いました。

もう一つは、コマを回せたのがうれしかったです。参加した国は、ペルー、コロンビア、ブラジル、アメリカとボリビアです。色々な言葉でのお話し、みんなと一緒に畳の上で寝たことを今でも思い出します。最後に福岡県の皆様、そして、ホストファミリーのお父さん、お母さんありがとうございました。

～親御さんからのメッセージ～

今回の福岡県人会子弟招へい事業で、色々な国の人達と交流ができ、娘も大きく成長したように思います。これからも日本をはじめ外の世界を見て、視野を広げてほしいと思います。

福岡県の皆様ありがとうございました。



A Group

ボリビア福岡県人会

徳永 アレハンドロ 勇一

TOKUNAGA AREHANDORO YUICHI

プログラムの内容で一番思い出に残ったこと、楽しかったことは？

福岡タワーに乗ったことが思い出に
なりました。

「プログラムで得たこと・学んだこと」

ぼくが生まれて十一年目、初めて外国を知るチャンスで両親から離れ、引率者に連れられ成田空港に到着しました。高い建物でびっくりしました。福岡には夜に着いて、ユニフォームと帽子をもらいました。いよいよみんなとの対面。不安で緊張しました。でも、話しているうちに友達になりました。

福岡市内見学、日産自動車工場見学と大島小学校見学もさせてもらいました。ホームステイでは大橋さん宅に2泊3日しました。ご家族の皆さんもすごく良い人達ばかりで僕を自分の孫のようにかわいがってくれました。

大島でのおみこし担ぎで、2～3km毎に、休憩所があったけど、僕は1kmぐらいで走りをやめたので、何も食べられませんでした。後で、DVDを見てこんなのがあったのかと思い、どうして最後までやりとげなかったのかと残念でしたが、福岡の夏の暑さに死にそうでした。

～親御さんからのメッセージ～

親としては日本に行かせる事は、毎日が不安と緊張でした。何かに夢中になって最後までやりとげるといえることが出来ないわが子にとっては、良い経験でないでしょうか？

福岡から帰国後、長男は、家でお客さんにお茶を出してくれたりもしてくれるようになりました。少しずつ気を遣ってくれるようになっただけでも成長してくれているのだと思います。



A Group

ボリビア福岡県人会

松本 悠 アンドレア

MATSUMOTO YU ANDREA

プログラムの内容で一番思い出に残ったこと、楽しかったことは？

和太鼓少年グループと、たいこの練習をしたこと。

「プログラムで得たこと・学んだこと」

私が今回のプログラムで得た一番の宝物は、世界の色々な国の子供たちと知り合って、友達になれた事だと思います。また、日本とボリビアの違いを体で感じる事ができました。例えば、日本は狭く、みんな忙しそうに働いています。それに比べてボリビアは広いし、のんびりしています。

一つ意外だったのは、グループの中で日本語を話せたのは、私達の他は、あと2、3人しかいなかったことでした。それでも、スペイン語、ポルトガル語、英語など、全部ごちゃまぜにして、結構、分かり合う事ができました。

一つでも多くの国の言葉を知っていると、とても役に立つという事が分かりました。後は、短い間でしたが、お父さんやお母さんと離れて、色々な事を自分でしてみた事で、自信が付き、恥ずかしがり屋ではなくなりました。

～親御さんからのメッセージ～

この度は、プログラムに参加させて頂き、誠に有難うございました。娘は引っ込み思案の所が有るので、多少心配しながら送り出したのですが、おかげさまで無事元気に帰って参りました。

帰国後の子供を見て感じる事は先ず、自立心が芽生えた事。そして、日本という国を従来よりずっと身近に感じる様になったという事が、その言動より見て取れます。又、日本のみならず、アメリカ、ブラジル、コロンビア、ペルー等の国々の子供たちと友達になる事が出来、メールアドレス等も沢山頂いて来ていますので、そういうつながりを通じて、子供の世界が、また一段と広がっているという事を実感致しております。



B Group

ペルー福岡クラブ

やまむら ホルヘ

YAMAMURA JORGE

プログラムの内容で一番思い出に残ったこと、楽しかったことは？

Mis amigos de intercambio, de taiko y del tiempo.

「プログラムで得たこと・学んだこと」

日本での経験は一生忘れられないと思います。福岡に到着し、県費留学生のさおりさん、ジュリアナさん、そして女性スタッフ2人が、バスで、グローバルアリーナまで案内してくれました。グローバルアリーナは大きいホテルのような感じで、庭園やレクリエーションの施設がたくさんありました。

翌日は、福岡県庁にあいさつに行き、福岡のとても重要な方々にお会いすることができました。それから市内観光をしました。

次の日はボートに乗って大島を回りました。この島のたった一つの小学校である大島小学校の皆さんは私たちを歓迎してくれました。「山笠」のお祭りに参加することもでき、とても楽しい時間を過ごしました。

その次の日は、九州の日産自動車工場を見学し、日産が生産している車や新しいモデルなどを見ることができ、いい経験になりました。その後は北九州市に行きました。

次の日は新幹線に乗ってロボットの展示会を見学し、踊るロボット犬のショーを見ました。また、他のイベントで私たちも、舞台上上がり、みんなの前で、南京玉すだれを披露し、とても面白かったです。ホームステイは、最初少し不安でしたが、私を受け入れてくれた家族はとても優しく、すぐに打ち解けることができました。彼らは、カンクンに行くためにスペイン語を勉強したことがあり、更に、昔ペルーに行ったことがあるそうです。このホームステイで、日本の風習を経験することができてよかったです。

翌朝、福岡県青少年科学館行き、昼は太鼓の体験をしました。夜はヤフードームで野球観戦を楽しみました。出発前夜、ホストファミリーやプログラム関係者の皆さんから送別会をしてもらいました。

福岡県国際交流センター、ペルー福岡クラブ、そして福岡県の皆さんに感謝します。



B Group

ペルー福岡クラブ

シマブクロ トミナガ アレクサンデル
SHIMABUKURO TOMINAGA ALEXANDER

プログラムの内容で一番思い出に残ったこと、楽しかったことは？

*Para mí fue conocer los amigos y hacer nuevos amigos.
Mis amigos fueron lo mejor que pasó.*

「プログラムで得たこと・学んだこと」

福岡で新しい友達ができ、また日本(福岡)の文化について学ぶこともでき、とても楽しかったです。

ロボスクエアには面白い物がたくさんあったので、僕のお気に入りの場所のひとつとなりました。また、新幹線も、速くてとても快適だったので、気に入りました。福岡県青少年科学館では、学校で習ったことを実際に見ることができて面白かったです。

僕が一番好きな場所は太宰府天満宮でした。巨大な建物で、とても美しかったし、そこで出会った人もやさしかったからです。

一番楽しかったことは野球観戦ですが、僕が応援したチームが負けたことは残念でした。

僕のホストファミリーは、とてもいい人で、楽しい時間が過ごせました。また会えることを祈っています。

このプログラムで出会った友達が恋しいです。また会えたらいいなと思います。

そして、また日本に行きたいです。次回は、広島、沖縄、京都など、別の場所を訪れてみたいです。

僕にとって、このプログラムは、とてもいい経験になりました。色々な国の人と友達になれたし、学校も休むことができたのです！

機会があれば、また日本に行って、日本をもっと楽しみたいです。



B Group

コロンビア福岡県人会

新地 愛美

SHINCHI AIMI

プログラムの内容で一番思い出に残ったこと、楽しかったことは？

私にとって、最も思い出に残ったのは、コロンビアで野球のボールを投げたことです。
Fue el momento y unas bolas de beisball que saque de una maquina isomatergrafica.

「プログラムで得たこと・学んだこと」

私は新地愛美です。初めての国際旅行でうれし泣きしました。コロンビア福岡県人会の若い代表ということで、少し心配していましたが、すぐに、ブラジル、ペルー、アメリカ、アルゼンチン、その他の子供たちと仲良く遊ぶことができました。

しかし、ポルトガル語、英語、スペイン語、日本語の言葉が大事だと気づきました。これからたくさん勉強して、また機会がありましたら、日本へ行きたいです。日本はとてもきれいな国でどこでも皆さんが親切でした。

すし、刺身が大好きなので、たくさん食べました。コロンビアでは珍しくて、簡単に買うことができません。大島小学校の交流、和太鼓少年グループ、和ごま、南京玉すだれ、日産自動車工場見学、ロボスクエア、福岡タワー、日本文化体験、スポーツイベント、野球試合観戦など、本当に全部楽しかったです。

私がビックリしたのは、福岡県知事の優しい笑顔です。私が県知事にコロンビアの帽子をかぶせると、“ありがとう”と言われました。いまでも心に思い出があります。

ホームステイのプログラムも楽しくて、もう少し日本で友達と遊ぶ時間が欲しかったです。福岡県のみなさま、いろいろありがとうございます。また、遊びにいきたいので頑張ります。

～親御さんからのメッセージ～

この度、2週間大変お世話になりました。ありがとうございます。娘も大きく成長し、福岡で出会った、日本、アルゼンチン、ペルー、ボリビア、アメリカ、ブラジルの友達とEmailで連絡するのを期待しております。コロンビアでこのような子供たちによる“福岡県人会コロンビアの青年グループ”ができれば最高です。喜んで、帰ってきました。



C Group

ブラジル福岡県人会

秋吉 ジュリオ 眞次
AKIYOSHI JULIO SHINJI

プログラムの内容で一番思い出に残ったこと、楽しかったことは？

na parte que treinamos jogar pião

「プログラムで得たこと・学んだこと」

すばらしい日本、福岡で優しくしてくださったみなさまに有難うを言います。

おじいちゃん、おばあちゃん達の国、ロボスクエア、科学博物館、そしてコマのトーナメントに出た事もみんな気に入りました。

もう懐かしく思っています。

皆さんと、他の国のみんなと一緒に過ごした事も忘れる事ができません。

僕はたくさん勉強して、いつか日本へ戻るつもりです。

できたら、いつの日か、みんなも僕たちのところに来て欲しいです。

～親御さんからのメッセージ～

眞次が祖父祖母の故郷を見ること、日本の親戚と会えること、祖先が生まれた日本を見学し、現在の日本の風景、そして都市機能に直接触れることは本当に素晴らしい事だと思います。

これからも日本とブラジルがだんだん近くなるように私たちは眞次と共に日本語の勉強、そして色々な活動をしていきたいと思えます。

本当に心からお礼を申し上げます。



C Group

ブラジル福岡県人会

蛸原 栄美 レチシア

EBIHARA EMI LETICIA

プログラムの内容で一番思い出に残ったこと、楽しかったことは？

Homestay, eu aqui com os meus parentes

「プログラムで得たこと・学んだこと」

日本はとても楽しかったです。

私と一緒にいったみんなも、福岡をすごく気に入ったと思います。

遊園地に行けなかったことが残念でした。一番気に入ったことは、科学博物館だと思えます。ただ、食事のおかずを選ぶことができなかつたのが残念でした。

他国のみんなと会うことができてすごく良かったと思います。

～親御さんからのメッセージ～

プログラムはすごく良かったと思います。みんないい思い出になりました。



C Group

ブラジル福岡県人会

田中 メリサ

TANAKA MELISSA

プログラムの内容で一番思い出に残ったこと、楽しかったことは？

TAIKO e a Queimada, fábrica automóvel e pião.

「プログラムで得たこと・学んだこと」

私はブラジル・サンパウロで太鼓を習っていますが、日本で見た太鼓は比べものにならないほどすごかったです。リズムが全然違っていました。“トコン トコン トコン トコン”あのリズムは毎日、頭の中に浮かんでいきます。コマもドッジボールも忘れられない思い出となりました。福岡タワーから見た福岡の町はとても美しかったです。

初めて大浴場というものを経験しました。お風呂と言えば、私の頭の中にはシャワーを浴びることです。だから、日本の大浴場を見た時に私の目にはプールに見えました。それで友達と泳いでいたら、おばさんに「こら～」と叱られてしまいました。

朝ごはんのご飯と味噌汁は慣れていなかったのですが、ちょっと大変でしたが、帰る頃には食べられるようになりました。

日本の小学校で出会った友達にまた会いたいです。ブラジルに帰ってきて、また日本に行きたいという気持ちが強くなりました。

～親御さんからのメッセージ～

サンパウロの空港に着いた娘の姿を見た時、顔に自信があふれているのに驚きました。この経験は、彼女がこれから生きていく上での何かの助けになり、糧になることを確信しました。本当に福岡で色々な経験をし、それについて何かを感じ、そして考えていく力がついたのだと思います。このプログラムを企画してくださった方々に感謝いたします。

有難うございました。



D Group

ブラジル福岡県人会

三坂 バーバラ

MISAKA BARBARA

プログラムの内容で一番思い出に残ったこと、楽しかったことは？

Homestay e o nosso proprio festival de Yamakasa

「プログラムで得たこと・学んだこと」

このプログラムを通して、日本文化についてたくさん学び、日本語も、ひらがなやカタカナなど、少し上達しました。また、日本についての知識も増えました。

一番気に入ったことはロボスクエアを見学したことです。とても楽しかったです。ありがとうございました。

～親御さんからのメッセージ～

子供たちに素晴らしい機会を与えてくださって、心から感謝します。この機会を通して、色々な事を学び、たくさんの国の人に出会い、そして日本語と私の母国である日本についても学ぶことができたと思います。

このプログラムの企画者と参加者の皆様、本当にお疲れ様でした。自分の子供がこのプログラムの一員となれて、すごく良かったです。娘にとって、ずっと忘れられない思い出になると思います。

ありがとうございました！



D Group

ブラジル福岡県人会

山下 ラファエル 力

YAMASHITA RAFAEL CHIKARA

プログラムの内容で一番思い出に残ったこと、楽しかったことは？

A visita à ilha de Oshima

「プログラムで得たこと・学んだこと」

僕たちが日本に居た間は、とてもお世話になり、ありがとう。そして、幾日もの間、行く先々に付いてきてもらい、本当に感謝しています。

知事さんに会えて、仕事をしているところも見せてもらって、嬉しかったです。

大島でのイベントにも参加する事ができました。ロボット展や日産自動車工場、福岡県青少年科学博物館、野球観戦、太鼓の学校や、コマなど色々なところを見ることができました。

僕はたくさん勉強して県費留学生になって日本へまた行きたいと思います。

皆さん、ありがとう。

～親御さんからのメッセージ～

この子供たちのプロジェクトが成功したのは、皆様方のおかげです。お礼申し上げます。

息子は、旅行する前は、8人のブラジルの子供たちとリーダーの3方とは、面識が有りませんでした。皆さんと仲良しになって、たくさんの体験をして帰国しました。彼の人生にかけがえのないものとして、しまっておくことでしょう。

本当に貴重な体験をさせて頂き感謝します。



D Group

ブラジル福岡県人会

平田 田場 恵美 キンベリー
HIRATA TABA EMI KIMBERLEY

プログラムの内容で一番思い出に残ったこと、楽しかったことは？

Taiko

「プログラムで得たこと・学んだこと」

私の夢は、日本を知ることでした。お父さん、お母さんが日本に行くとき、私はいつも一緒に行きたいと言いました。しかし、仕事なので、それはできませんでした。そこで私は、いつか私も日本に行って、お父さんとお母さんが行った場所を見てみたいとずっと思っていました。今回、その夢が叶いましたが、まだその思いが続いているような気持ちがします。

日本に着いた最初の日、私はホームシックになって、泣いてしまいました。しかし、段々と慣れて、4日目からは楽しくなり、友達をたくさん作ることができました。太鼓を叩いたり、福岡県青少年科学博物館に行ったり、100円ショップでたくさん買い物をしたり、私はとても楽しみました。

私はアリーネやパウラなど、県費留学生のことを思い出します。来年の4月にブラジルに戻ってくるので、そのときに会えるのが楽しみです。私はこうした機会を与えてくれた福岡県とブラジルの県人会の皆さんに感謝しています。

～親御さんからのメッセージ～

プログラムに参加して、娘はそれまで気がついていなかった自分自身の力を知ることができたのだと思います。娘はとても大人になって帰ってきました。わずか2週間で1年分の成長をしたかのようです。

また、彼女は日本で自分の故郷や祖先について知り、そのことに誇りを持ちました。そして父親に対する尊敬の気持ちが以前よりも大きくなりました。今回のプログラムは娘にとっても大きなものをもたらしたようです。

ありがとうございました。



E Group

ブラジル福岡県人会

柳原 城崎 りえ タイス

YANAGIHARA THAIS LIE SHIROSAKI

プログラムの内容で一番思い出に残ったこと、楽しかったことは？

A queimada, o waddiko e o Intercâmbio e/ a família

「プログラムで得たこと・学んだこと」

私は、日本に旅行できて、とても幸せです。日本のことは、想像していましたが、本当はとでも違って、びっくりしました。楽しいことがたくさんありました。

- ① 科学博物館に行って、模型飛行機に乗ったこと。
- ② 野球の試合を見に行って、シャツをいただいたこと。
- ③ ロボスクエアに行ったこと。
- ④ 大島にフェリーで渡ったこと。そして山笠を見たこと。島の学校のお友達と折り紙のかぶとを作ったこと。帰りの別れのテープが悲しかったこと。
- ⑤ 毎晩、お友達とお風呂に入ったこと。
- ⑥ 日本人、アメリカ人、ペルー人、などたくさんのお友達ができたと。

楽しい、楽しい毎日でした。

日本はどこも綺麗に掃除されて、整理され、礼儀正しい人がたくさんいて、感動しました。ただ一つだけ満足できなかったのは、食事でした。ブラジルの味と違って、おらずに砂糖が使われてあって、苦手でした。

これからもっともっと勉強して、また日本へ行きたいと思います。日本文化を勉強したいと思います。有難うございました。

～親御さんからのメッセージ～

今回、素晴らしいチャンスをりえに与えて下さいましたことを心より感謝いたします。日本の事は祖父母や知人から話を聞いて、子供なりに想像はしていた様ですが、実際に日本の国を肌で感じて大変感動したようです。日本がすっかり気に入って、「しっかり勉強して、将来は日本の文化を研究したい。」と言っています。

娘の成長に家族全員喜んで激励しております。



E Group

ブラジル福岡県人会

メンデス 三坂 ジョヴァンナ
MENDES MISSAKA GIOVANNA

プログラムの内容で一番思い出に残ったこと、楽しかったことは？

☺ Shopping, as compras e 100 Yen Shop.

「プログラムで得たこと・学んだこと」

福岡県知事はじめ、私達研修生のお世話をしてくださいました、みなさま、本当に色々と有難うございました。私は、三坂メンデスジョヴァンナです。

新しいお友達が出来、日本文化を学び、福岡タワー、ロボスクエアなど色々見物をしたり、新幹線に乗ったり、まるで夢のようでした。私にとって一生忘れる事がないと思います。グローバルアリーナ、めかり山荘、太宰府のホテルの皆様、本当にありがとうございました。

～親御さんからのメッセージ～

プログラムに参加する前のジョヴァンナは少し内気で自分から進んで話す子供ではありませんでした。すごく、明るい子になって帰ってきました。本当に素晴らしいプログラムに参加できました事、心からみなさまに感謝しています。

ありがとうございました。



E Group

ブラジル福岡県人会

山田 恵理

YAMADA ERI

プログラムの内容で一番思い出に残ったこと、楽しかったことは？

Wagomai

「プログラムで得たこと・学んだこと」

私は、福岡でボリビア、ペルー、コロンビア、アメリカ、ブラジルや日本の人たちと知り合いになれた事がとても楽しかったです。

今までブラジルでは、した事のない、コマ遊び、花火、ロボスクエア、大島山笠での水浴びを経験しました。

本当に福岡県の知事さんがこのような経験をさせてくれた事に感謝しています。そして、これからも他の子供たちがまた日本に行ければいいなと思います。

～親御さんからのメッセージ～

今回、娘の山田恵理を日伯交流という名目で2週間、福岡の子供たちや他の国の子供たちと交流の機会をいただき、日本文化と触れ合う経験をさせていただいた事に感謝の意を申し上げます。

日本に、今回行った事で、日本語や文化の大切さを知り、また日本に行きたいといっているのも、娘も、少し日本に興味を持ったみたいです。

このような経験は、家族旅行ではできません。福岡県の計らいのおかげだと思っています。誠にありがとうございました。



F Group

南加福岡県人会

野中 玲那

ANNELIESE LEINA YUENGER

プログラムの内容で一番思い出に残ったこと、楽しかったことは？

I liked ~~the~~ the Japanese Culture

「プログラムで得たこと・学んだこと」

一番心に残っているのは、同じ福岡出身の子供でも国が違うと気質も違うんだなあ、ということでした。

日本について思ったことは、テクノロジーがものすごく発達していること、その一方でものすごく素朴な生活をしている人たちもいて、そのギャップに驚きました。テクノロジーを感じた新幹線はものすごいスピードで楽しかったのですが、景色が見れず、残念でした。

みんなで練習した玉すだれでは、ステージにも立って恥ずかしかったけれど、終わった時はとてもうれしく思いました。福岡県知事に会えたこともとても誇りに思えます。彼はユーモアのある人だったので好きになりました。

最後に、お世話していただいた皆さん、特にトニーさん ありがとうございます。

～親御さんからのメッセージ～

普段から調子の良い娘で、このお話があったときも進んで手をあげていたのですが、いざ福岡に出発になると空港で涙を流し始め、“怖い、行きたくない”と言い出し、不安の残るスタートでした。

見ず知らずの人たちと一緒に過ごすという事は、実際にその状況におかれてみると、大変な恐怖だったと思います。きっと、参加している子供たち皆が同じ状況だったでしょう。そんな仲間と2週間、団体行動を共にし、帰ってきたときは、参加していた仲間のことが恋しくて仕方なく、落ち込んでいました。きっと、その恋しく思える気持ちは、福岡の記憶と共に一生忘れることの出来ない良い思い出になるとと思います。

このプログラムに参加し、娘にとって福岡がますます特別なものになったようです。この素敵なチャンスをいただき、ありがとうございます。

最後に、たくましく見えて気の弱かった娘ですが、プログラムに参加し、気の弱さが薄れ、何か悟ったようなたくましさを強く感じるようになりました。



F Group

南加福岡県人会

堀 絵美理

HORI EMILY

プログラムの内容で一番思い出に残ったこと、楽しかったことは？

I liked how we got to learn how to do taiko.
And I also liked koma.
I Also enjoyed the food.

「プログラムで得たこと・学んだこと」

日本文化についてたくさん学びました。例えば、こまの遊び方を習いました。英語では、Topと言います。また、南京玉すだれの遊び方も習いました。竹製の小型のすだれを色んな形にし、私は日本の国旗、釣り竿、太陽、橋など、日本を代表する物を作りました。

また、色々な国の友達に会えて嬉しかったです。日本の文化や地域についても学びました。福岡周辺を観光したのが楽しくて、特に、福岡タワーに上って福岡の景色を見ることができてよかったです。

もし、一つ要望があるとしたら、食事に魚、ご飯、味噌汁以外のものをもう少し取り入れて欲しかったです。

～親御さんからのメッセージ～

プログラム参加後、エミリは以前よりも日本文化や日本人に興味を持つようになりました。例えば、日本食を自分で料理したり、日本語の本を読んだり、折り紙等の日本の遊びをよくするようになりました。また、ブラジル等の他国から来た子供とも友人になり、米国、日本に限らず、他国の文化にも興味を持ったみたいです。

今後も、日本の文化を吸収して、福岡と米国のかけ橋になる事を期待します。



F Group

南加福岡県人会

堀 太平

HORI TAIHEI

プログラムの内容で一番思い出に残ったこと、楽しかったことは？

I liked it when we learned
~~at~~ taiko and met a class

「プログラムで得たこと・学んだこと」

このプログラムのおかげで、ボリビア、ブラジル、コロンビア、ペルーなど、色々な国の友達
ができました。

お箸の使い方や、南京玉すだれの遊び方などを習い、釣り竿、太陽、橋、そして日本の国旗を
作りました。また、こまの遊び方も習いました。最初は難しかったですが、慣れてきてからは大
丈夫でした。

また、福岡タワーなど、色々な場所に行きました。でも、福岡タワーは高所恐怖症の人には良
くない場所です。他にも、ロボスクエアで色々なロボットと遊ぶことができました。

全部楽しかったです。また、このプログラムに参加したいです。

～親御さんからのメッセージ～

プログラムに参加し、日本より帰国後、太平は日本の事をよく話すようになりました。プロ
グラムでは、沢山の事を学んだみたいです。日本語も上達し、日本の食べ物や遊び等の文化に
ついて以前よりも興味が増したように思えます。

ここ米国でも、以前にも増して、日本のマンガやテレビが子供たちに人気です。また、コマ等
の日本の遊びもよくやっています。

今後も日本に興味を持ち続け、日本文化を身に付ける事を願います。

参加者レポート 引率者



A Group

ボリビア福岡県人会

宮園 昭生

MIYAZONO AKIO

プログラムに参加する目的は、両親の故郷である福岡県の文化、産業などをこの目で見て、感じることでした。

文化的には大島での祇園祭に参加でき、島民の信仰の厚いことや、子供から大人までが暑い日差しの中で楽しんでいるところが非常に印象的でした。

和太鼓グループとの交流では、今まで見たことも、聴いたこともない楽器を子供たちがわずか数十分で覚えて演奏できたことに驚いています。

産業では、日産自動車工場の作業工程を見学しました。数百台のロボットが24時間ノンストップで作業して、車の製造過程の効率を上げているのを興味深く見学しました。



B Group

ペルー福岡クラブ

イシカワ コバヤシ デビッド

YSHIKAWA KOBAYASHI DAVID

福岡を訪問し、福岡の観光地、文化、伝統と近代性を知り、素晴らしい経験をしました。ペルーの子供たちも、他の国の子弟達に出会ったことは楽しい経験だったと思います。

子供たちは十分福岡を楽しみました。この経験は一生忘れられないと思います。

私たちにこのような機会を与えて下さり、本当にありがとうございました。また、ぜひ福岡を訪問したいです。



B Group

コロンビア福岡県人会

手島 陽子 マリア オルガ

TESHIMA YOKO MARIA OLGA

この2週間、皆さんに大変お世話になり、心から感謝しております。世界の福岡県人会の皆さんと出会ったことは貴重な経験でした。

麻生県知事と挨拶した際、本当に明るくて親切な方と知りびっくりしました。また、コロンビアの独特な帽子をかぶっていただき、笑顔で“ありがとう”とおっしゃった言葉が私には決して忘れることができません。

また、あるイベントで、常陸宮様にお声をかけられたことが、私たちには名誉でした。コロンビアのコーヒーが世界で一番美味しいとのお言葉をいただき、びっくりしました。

福岡で親戚とホームステイのプログラムで会うことができ、嬉しかったです。いろいろ御世話になり、心から感謝しております。



C Group

ブラジル福岡県人会

古賀 寿美 エヴェリネ

KOGA HISSAMI EVELINE

このプログラムを通して、責任感が強くなったような気がします。子供たちの性格は一人一人それぞれ異なるということがわかり、彼らに対する接し方も学びました。また、子供たちの両親は、長期間、子供と離れることを非常に心配されていたので、彼らを安心させることも私たちの大事な役割だと感じました。子供たちの世話をすることの楽しさと同時に大変さにも気付きました。例えば、話を聞いてあげたり、ホームシックで泣いている子たちを慰めたり、一緒に遊んだりしました。

また、祖父母の母国、そして自分のルーツについて改めて考えることができました。ホームステイで初めて親戚に会うこともでき、これで私の祖父母が昔どんな生活をしてきたか、話を聞くこともできました。

改めて、県知事、県費留学生、このプログラムをサポートして下さった皆さんに感謝します。私は、現在の福岡を誇りに思っています。



D Group

ブラジル福岡県人会

辻沢 法泉

TSUJISAWA ROSSEN

このプログラムを通して、日本文化や未来に対するビジョン、そしてお互いを尊重し合う日本人の心がわかったような気がします。

また、国際交流センターの皆さんと県費留学生のおかげで安心して色々な素晴らしい場所を見学することができました。実際、日本の子供たちと話してみて、違いもあるが同じところもあると感じたようです。

ブラジルの日系人は日本人であることをあまり意識していません。ブラジルの子供はブラジルに帰る頃には、子供たちは少し悲しそうな感じでした。きっと、日本が好きになったに違いありません。私も、時々日本のことを思い出すと、日本が恋しくなります。是非、また行きたいです。

最後に、福岡県の皆さんと私たちを支援してくださった方々に感謝します。今度は、私にできることがあれば、是非皆さんの力になりたいです。



E Group

ブラジル福岡県人会

梶本 さくら デニーゼ

KAJIMOTO SAKURA DENISE

私たちには少しきついスケジュールでしたが、子供たちにとっては、様々な体験を通して、日本文化を味わい、習慣の違いを知り、福岡にもっと興味を持ち、経験を深めることができたと思います。一番印象に残っているのは、和ゴマ、南京玉すだれ、太鼓、新幹線です。子供たちは、他国の県人会の子供たちや日本の子供たちと交流ができ、帰国後は皆、少し成長したと感じました。また、県費留学生の協力をいただき、大変助かりました。子供たちはお世話になった県費留学生の事を絶対に忘れないし、彼らが帰国して、再会するのを楽しみに待っています。

実は、9月7日に県人会で歓迎会が行われたのですが、そこで子供たちは南京玉すだれを県人会の皆に披露してくれました。また、一人ずつあいさつをして、一番おもしろかった出来事を発表しました。

この機会を与えてくださり、心から感謝申し上げます。今後、この子供たちも県人会の行事に積極的に参加することでしょう。



F Group

南加福岡県人会

チョウ シャオ チン
CHOU HSIAO CHING

福岡へ訪問する機会を与えてくださり、本当にありがとうございました。

この2週間で、華やかな日本文化に触れることができました。以下は、このプログラムのハイライトです。日本人は尊敬されており、伝統文化を愛していることがわかった。教育においては、教科書を使った学問的な教育だけでなく、社会的な教育にも取り組んでいる。日本はフレンドリーな国である。みんな礼儀正しく、誠実でお互いのことを尊敬している。優れた知能を持つ国で、この最先端技術は、日本人が賢明で、創造力のある国民であることを示すのではないかと思う。以上のように、このプログラムを通して、日本文化についてたくさん学ぶことができました。忘れられない素晴らしい経験でした。このプログラムは、子供たちが自分のルーツや先祖について知り、感謝する機会を与えるいいプログラムだと思います。

参加者レポート 県費留学生



A Group

ボリビア福岡県人会

仁田原 優

NITABARU YU

今年が第一回目となる海外福岡県人会子弟招へい事業に、私を含め今年度の県費留学生計10人はサポート役として参加することができ、貴重な体験をする機会を頂いたことに感謝しています。

プログラム内容については、様々な場所へ行き、日本人の子供たちと触れ合うことはとても良かったと思います。ただし、一日の移動回数があまりに多く、子供たちにとってはつまらないと思われる場所も少なくはなかったと思います。

この2週間、わずかな期間ではありますが、成長した子供たちもいました。また私も、子供たちや事業から教わったことが少なからずあります。この事業はとても素敵な経験となり、勉強にもなりました、これからも是非、続けていって欲しいとも思います。



B Group

メキシコ福岡県人会

仲宗根 紗織

NAKASONE SUSUMU LATICIA SAORI

この海外福岡県人会子弟招へい事業は7月12日から24日まで行われました。

プログラムは福岡市内を観光しながら、福岡の素晴らしさを味わってもらい、日本と福岡への想いを深めて、交流を通して自分達の国との橋渡しをするのが目的でした。もちろん子供たちが良い思い出を作るのも目標でした。

プログラムでの13日間は、24時間ずっとグループ行動しなければならなかったので、寝る時まで一緒でした。だから時々よく寝れないこともありましたが、プログラムを離れると皆の事が恋しくなったりしました。

それに、今年の夏は暑かったので、疲れが出始め、6日目に体調をくずしてしまいました。結局、私は最終日までは皆と一緒に残ることができず、途中でリタイヤしてしまいました。夏バテで倒れてしまったことで、皆さんに色々なご迷惑をかけて、すみませんでした。心から本当にありがとうございました。



B Group

ペルー福岡クラブ

ヒグチ マツダ ジュリアナ アンドレア
HIGUCHI MATSUDA GIULIANA ANDREA

この2週間のプログラムは私にとって信じられないほど、とても貴重な経験になりました。それは初めて子供のお世話をし、この期間に私は彼女たちと姉妹のようになれたからです。しかし、子供たちはエネルギーがいっぱいなので、私は、毎日非常に疲れた気がします。

このプログラムを通して、私自身、小倉城そして福岡のまわりにある多くの新しい場所を知ることができました。また常陸宮正仁親王と同妃に出会いました。常陸宮正仁親王妃華子はスペイン語で「日本はどうですか」と私に尋ねられ、うれしくなりました。常陸宮正仁親王妃華子はスペイン語と英語も話せます。

私にはとてもいい二週間で、日本語も少し上手になり、ペルー人の子供たちのお世話をすることができました。時々、インターネットで子供たちと話すと、子供たちは日本にまた来たいと言っています。



C Group

ブラジル福岡県人会

角 イザベラ 茜
SUMI IZABERA AKANE

7月に、海外福岡県人会から子供たちが来るため、私たち県費留学生達は通訳として手伝えることになりました。子供たちの来福前に、私たちは「南京玉すだれ」を覚えていなければなりません。宍戸君以外は誰も「玉すだれ」なんて見たこともなく、皆で夜遅くまで練習しました。

いよいよ、子供たちが着く日が来ました。私のグループには女の子二人、男の子一人がいました。3人ともとても大人しく、素直な子供たちなので、びっくりしました。朝早く起きないといけない時も、風呂で騒がないように注意しても、夜早めに寝なさいと言っても、何でも素直に言うことを聞いてくれて助かりました。

ブラジルでは、子供に日本語を教えていましたが、ブラジルの子供たちの日本語力は、ボリビアの子供たちののに比べたら、完全にブラジルの方が負けていることに気がつきました。もっと頑張らなくてはいけないと思いました。

皆と一緒にいた間はとても疲れたけれど、楽しかった一週間でした。今でもあの子供たちからメールをもらっています。



C Group

ブラジル福岡県人会

木村 啓 デニス

KIMURA DENIS KEI

7月は子弟招へい事業で色々な国から子供たちが18人来ました。最初は、一度も会った事のない子供たちの面倒を見ることがとても心配でした。でも僕は子供が大好きなのですぐ仲良くなりました。色々な所へ行きましたが、子供たちが一番喜んだのは買い物に行った時だと思います。子供たちはいつも元気で、夜になってもなかなか寝てくれなかったのが大変でした。子供たちは色々な国から来ていたのでポルトガル語、スペイン語、英語、日本語を混ぜて話していました。その子供たちの話を聞くのが凄くおもしろかったです。

帰る時はみんなと一緒に空港まで見送りに行きました。女の子たちは泣いていました。

僕も少し悲しかったです。子供たちと10日間一緒だったので、お別れの時は胸が少しギュツとなりました。子供たちが去った翌日は、一人で過ごしたのですが、急に子供たちの声が聞こえなくて静かになったので、なんだか寂しかったです。今でも子供たちとメールで話したりします。また会いたいです。



D Group

ブラジル福岡県人会

芭蕉 宏美 アリーネ

BASHO HIROMI ALINE

海外福岡県人会子弟招へい事業は素晴らしいプログラムだと思います。子供たちは気候の暑さについては、文句を言いながらも、とても楽しんでいました。時々ブラジル人の子供たちからメールが来て、プログラムの事が懐かしいと言っています。期間中は、ハードスケジュールで、少し疲れましたが、終わってしまうと、子供たちに会えなくなって寂しくなりました。

ブラジル人にとって、一番疲れるのは日本の暑さだと思います。ブラジル、サンパウロと違って日本は湿っぽい暑さであるため、慣れてない人には辛いと思います。しかし、それも自分の国と違って、いい経験だと思います。私自身、このプログラムに参加できて、色々な所に行けて嬉しかったし、とても楽しかったです。他の国の人と知り合って有難いです。皆さんには、本当にお世話になり、有難うございました。



D Group

ブラジル福岡県人会

松田 前田 パウラ 裕美
MATSUDA MAEDA PAURA YUMI

このプログラムでの経験は、とても面白いものでした。子供たちは、皆、やる気があり、いい子たちばかりでした。私にとって、この事業の大きな魅力の一つは、共同生活と日本の食事を楽しめることです。ホテルはどれも、とてもきれいでした。また、グローバルアリーナでのバーベキューは、とても楽しかったです。

一つ残念だったのは、プログラム期間中、毎日忙しい上に、暑さのせいか、県費留学生のなかには、体の調子が悪くなった人がいました。夜は、みんなよく眠れなかったようです。



E Group

トメアス福岡県人会

加藤 協 アレックス
KATO KYO ALEX

7月12日から24日のプログラムは良い経験になりました。

食事は、ブラジルと日本は全く異なります。子供たちは、和食が初めてということもあり、楽しく食べていましたが、和食以外の料理も食べさせてあげられたら良かったと思います。また、ブラジルでは食事中はお茶を飲む習慣はあまりないので、お茶より水を準備した方がよいと思います。

子供たちは大島の山笠と小学生との交流を喜んでいましたし、県立青少年科学館やロボスクエアも子供向けのプログラムだったので喜んでいました。グローバルアリーナは子供たちが遊べる所があったので、とても良かったし、太宰府で泊まったホテルも、温泉に入ることができ、またインターネットを利用できる点で、良かったと思いました。ホームステイも子供たちにとっては、良い経験だと思いますが、日本語も英語も話せない、分からない子供たちを一人でポルトガル語ができないホストファミリー宅に宿泊させるのはやめた方がいいと思います。あるホストファミリーは子供を水族館に連れて行ったようですが、その家庭にステイした子供たちはすごく楽しかったと言っていました。



F Group

南加福岡県人会

宍戸 達朗

TATSURO SHISHIDO

率直に言って、楽しかった。異文化の中で育ってきた沢山の子供たちと長時間過ごせたことは、本当に素晴らしい経験になった。

10歳～12歳の子供たちは、冒険心溢れる年頃なので、どのイベントにも楽しく参加してくれた。同時に、多くを学ぶには若すぎる年齢でもあるので、僕が通訳した日本文化や日本の生活についての説明が、どのくらい彼らの頭に残っているのだろうかと思う。

この事業を通して子供たちに伝えたいのは、日本文化に触れ合うだけでなく、各県人会にそれらの文化や行事を今後取り入れ、発展と活性化につなげることだ。子供たちにとって、単なる「旅行」として思い出に残るだけでなく、この願いが伝わることを信じている。



F Group

アルゼンチン福岡県人会

カプラン ロイ

KAPRAN ROY

国際交流センターと福岡県が主催する、10歳から12歳の2世から5世の日系人の子供たちが自分のルーツである日本について学べるこの「海外福岡県人会子弟招へい事業」は有益なことだと思いました。

外国の子供たちに、日本のことを知ってもらうのは難しいと思うので、このような交流プログラムはとても大事だと思います。実際に経験することは自分の故郷について知ることができるからです。

県人会の活動に関しては、子供たちが自分の経験を他の子供や家族に伝えることで、日系人の過去、現在、そして未来について話し合う機会が増えると思います。

このプログラムに参加できて嬉しいです。国際交流センターと福岡県に感謝します。これから、今後のプログラムのために、積極的にアルゼンチン県人会の子供たちのお世話をしたいと思っています。

引率者会議 議事録



日 時：平成20年7月19日(土) 10:00-11:30
 場 所：アクロスサロン(福岡市中央区天神1-1-1 アクロス福岡8F)
 参 加 者：引率者以下7名

県人会名	氏 名	グループ
在ボリビア福岡県人会	宮園 昭生	Aグループ
ペルー福岡クラブ	イシカワ コバヤシ デビッド	Bグループ
コロンビア福岡県人会	手島 陽子 マリア オルガ	Bグループ
ブラジル福岡県人会	古賀 寿美 エヴェリネ	Cグループ
ブラジル福岡県人会	辻沢 法泉	Dグループ
ブラジル福岡県人会	梶本 さくら デニーゼ	Eグループ
南加福岡県人会	チョウ シャオ チン	Fグループ

■オブザーバー

- ・(財)福岡県国際交流センター事務局長 福島 明彦・・・議長
- ・福岡県交際交流局交流第二課企画主幹 佐野 秀雄

■通訳補助：県費留学生

- ・南加福岡県人会 宍戸 達朗

■司会進行

- ・(財)福岡県国際交流センター国際部企画交流課長 緒方 有希

～引率者からの主な意見～

- ☞ 応募の年齢制限を、11歳限定ではなく、もう少し幅を広げてはどうか。
- ☞ 小学校交流については、2校くらい訪問してはどうか。
- ☞ 子弟の選考基準をもう少し厳しくしてはどうか。
- ☞ ホームステイ期間を長くしてほしい。
- ☞ 日本文化体験をもっと増やし、時間も十分とってほしい。
- ☞ 食事については、バラエティー豊かなものを取り入れてほしい。
また、食事内容についての説明がほしい。
- ☞ 子どもの参加のモチベーションを高めるため、日記(記録)を書かせてはどうか。
- ☞ 団長の役割とは。
- ☞ 就寝時間を決めて欲しい。
- ☞ 毎日のミーティングには、引率者も入れてほしい。



参加者からは上記のような意見や要望が活発に出されました。事務局ではよりよい事業にするために、皆様のご意見を参考にさせていただきます。

福岡県の海外県人会

■福岡県の海外移住

(1) 海外移住の始まり

明治18年(1885年)のハワイ移住により始まり、123年を経過

(2) 海外移住者総数(自由移民を含まず)

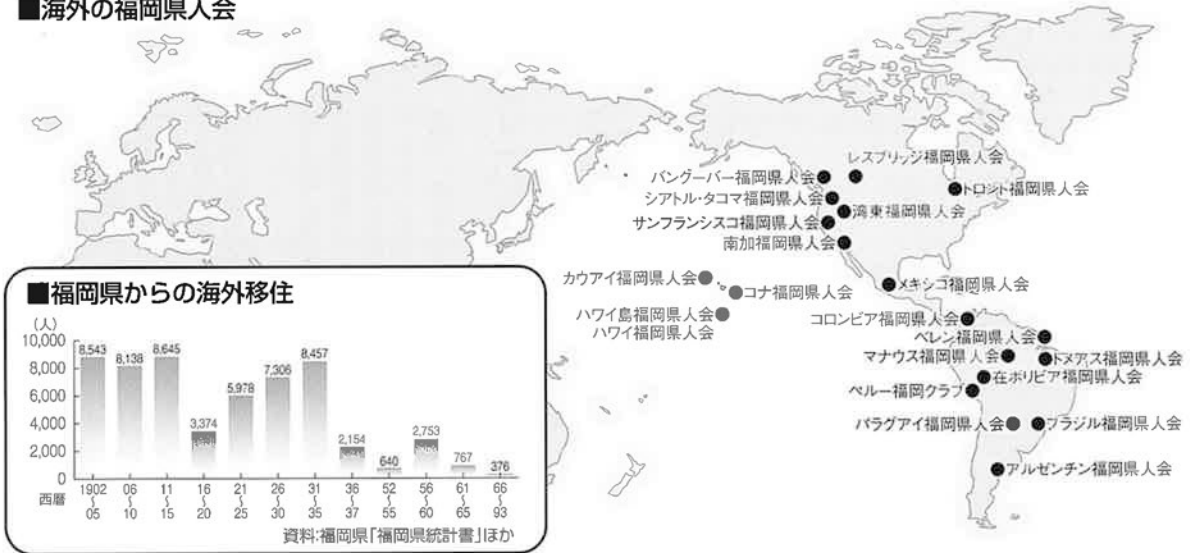
戦前(明治32年から昭和16年) 51,240人(全国比7.8%)

戦後(昭和27年度から平成5年度) 4,536人(全国比6.2%)

※戦前・戦後計 55,776人(全国第4位)

第1位	広島	98,975人
第2位	沖縄	79,454人
第3位	熊本	72,699人
第4位	福岡	55,776人
第5位	山口	47,430人

■海外の福岡県人会



アルゼンチン	アルゼンチン福岡県人会	カナダ	トロント福岡県人会	アメリカ(ハワイ)	ハワイ島福岡県人会
ボリヴィア	在ボリヴィア福岡県人会	カナダ	バンクーバー福岡県人会	アメリカ(ハワイ)	カウアイ福岡県人会
ブラジル	ベレン福岡県人会	コロンビア	コロンビア福岡県人会	アメリカ(ハワイ)	コナ福岡県人会
ブラジル	ブラジル福岡県人会	メキシコ	メキシコ福岡県人会	アメリカ(本土)	南加福岡県人会
ブラジル	マナウス福岡県人会	パラグアイ	パラグアイ福岡県人会	アメリカ(本土)	サンフランシスコ福岡県人会
ブラジル	トメアス福岡県人会	ペルー	ペルー福岡クラブ	アメリカ(本土)	シアトル・タコマ福岡県人会
カナダ	レスブリッジ福岡県人会	アメリカ(ハワイ)	ハワイ福岡県人会	アメリカ(本土)	湾東福岡県人会

海外県人会 9ヶ国 21県人会

海外福岡県人会子弟招へい事業 実施要綱

(目的)

第1条 海外福岡県人会会員の子弟を本県へ招へいし、様々な体験を通じ、福岡・日本に対する関心や興味を高め理解を促すことにより、今後の県人会活動の一翼を担い、福岡・日本との交流の核となる後継者を育成すること、併せて県人会の活性化を図るものである。

(事業の実施)

第2条 この事業は、関係機関で構成する海外福岡県人会子弟招へい事業実行委員会(以下「実行委員会」という。)が実施する。

2 実行委員会は、国際交流局交流第二課長、青少年課長、義務教育課長、財団法人福岡県国際交流センター専務理事をもって組織する。

3 実行委員会の委員長(以下「委員長」という。)は、財団法人福岡県国際交流センター専務理事をもって充てる。

(会議)

第3条 実行委員会は、委員長が必要に応じて開催する。

2 実行委員会は、第4条に規定する事業について協議し、決定する。

(事業)

第4条 実行委員会は、海外福岡県人会子弟招へい事業(以下「招へい事業」という。)の実施にあたり、次のことについて協議し、決定する。

(1)事業計画と事業予算の決定

(2)招へいする子弟及び引率者(以下「招へい者」という。)の決定

(3)その他、この事業の実施に関し必要と認められる事項

(招へいする子弟の条件)

第5条 子弟は次の各号に掲げる条件を備えるものとする。

(1)招へい事業の目的を理解していること

(2)海外福岡県人会会員の子弟であること

(3)年齢は招へい期間中に満11歳であること

(4)本人自らが、日本の生活や文化に興味があり、それらを体験しようとする積極的な気持ちを持っていること

(5)心身共に健康であること

(6)日常の身の回りのことが一人でできること

(7)自国の文化や社会、生活様式について紹介ができること

(8)募集要項に定める注意事項を遵守できること

(引率者の参加条件)

第6条 招へいする子弟は引率者が帯同するものとする。

2 引率者は次の各号に掲げる条件を備えるものとする。

(1)招へい事業の目的をよく理解していること

(2)招へい期間を通じて子弟の指導や援助ができること

(3)海外福岡県人会の会員であること

(4)招へいする子弟の祖父母、父母、兄、姉、伯父(叔父)、伯母(叔母)ではないこと

(5)年齢は招へい期間中に原則20歳以上50歳未満であること

(6)日本語又は英語でコミュニケーションがとれ、子弟とホストファミリーその他の関係者との間の通訳ができること

(7)日本の生活様式や文化に興味を持っていること、またそれらを体験しようとする積極性を持っていること

(8)日本の家庭にホームステイをして交流できること

(9)事業終了後、海外福岡県人会活動に積極的に参加すること

(申請書の提出)

第7条 招へい事業の参加希望者は、招へい事業参加申請書(様式第1号)もしくは引率申請書(様式第2号)に親権者の承諾書(様式第3号)を添え(親権者の承諾書の添付は子弟の場合のみ必要)、海外福岡県人会長(以下「県人会長」という。)に提出しなければならない。

2 県人会長は、前項の申請書の提出があったときは、推薦書(様式第4号)を添えて、委員長に提出するものとする。

(招へい者の決定)

第8条 委員長は、実行委員会の中に、招へい者を決定するため、海外福岡県人会子弟招へい者等選考委員会(以下「選考委員会」という。)を設置する。

2 委員長は、選考委員会の選考結果の報告を受け、実行委員会で招へい者を決定する。

3 委員長は、招へい者を決定した場合、すみやかに招へい者に対し、県人会長を通じて、招へい事業参加決定通知書(様式第5号)を交付する。

(選考委員会)

第9条 前条の選考委員会の委員は、国際交流局交流第二課長と財団法人福岡県国際交流センター専務理事とする。なお、必要に応じて委員長が別途委員を指名することができる。

2 選考委員会は委員長が必要に応じて開催する。

(経費)

第10条 招へい者の往復の航空運賃及び福岡での滞在に係る経費については、実行委員会が負担する。

(事務局)

第11条 実行委員会及び選考委員会の事務を処理するため、事務局を財団法人福岡県国際交流センターに置く。

2 事務局長は財団法人福岡県国際交流センター事務局長をもって充てる。

(その他)

第12条 この要項に定めるもののほか、実行委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成20年1月17日より施行する。

▼西日本新聞 2008.3.8

ルーツは フクオカ

移住者の子孫に郷土意識促す

県は、海外に移住した福岡出身者の子孫で、年齢十一歳の子どもを福岡に招待する事業に新年度から乗り出す。「ルーツはフクオカ」という意識を子どもたちに持つてもらおうと、将来の活発な国際交流につなげるのが狙い。二〇〇八年度当初予算案に事業費を盛り込んでおり、第一弾として七月に北米や中南米の九カ国から三十人が訪れる予定だ。

移住者の親睦団体「海内四番目。うち半数の外国人会」は、ブラジル、渡航先をブラジルが占め、やヘル・アルゼンチン、メキシコ、米国、カナダなど九カ国に二十一団体がある。一九九三年度までの海外移住者総数は五万五千七百七十六人で、

11歳の子どもも招待 7月から 南米など9カ国の30人 県が計画

「海外に移住した福岡出身者の子孫で、年齢十一歳の子どもを福岡に招待する事業に新年度から乗り出す。」「ルーツはフクオカ」という意識を子どもたちに持つてもらおうと、将来の活発な国際交流につなげるのが狙い。二〇〇八年度当初予算案に事業費を盛り込んでおり、第一弾として七月に北米や中南米の九カ国から三十人が訪れる予定だ。

移住者の親睦団体「海内四番目。うち半数の外国人会」は、ブラジル、渡航先をブラジルが占め、やヘル・アルゼンチン、メキシコ、米国、カナダなど九カ国に二十一団体がある。一九九三年度までの海外移住者総数は五万五千七百七十六人で、

▼西日本新聞 2008.7.15



金魚すくいに挑戦する「海外福岡県人会」の子どもたち

5カ国海外県人会の子ども 県庁で知事と懇談

金魚すくいも楽しむ

海外福岡県人会の子どもたちを福岡に招き、文部科学省の海外青少年交流事業の一環として、七月に北米や中南米の九カ国から三十人が訪れる予定だ。

一行は二十四日まで県内に滞在。日本の同年代の子どもたちと交流を深める予定。

この後、子どもたちは福岡市博多区の博多町家ふるさと館や柳田神社を訪問。柳田神社では境内の飾り山笠を見たり、屋台で金魚すくいを楽しんだ。

「海外福岡県人会」の子どもたちは、七月に北米や中南米の九カ国から三十人が訪れる予定だ。

体験してもらおうと、県が本年度から始めた「海外県人会子弟招へい事業」の参加者が十四日、県庁を訪れた。

ブラジルなど南米四カ国と米国の十一歳の少年少女十八人と引率者七人で、十二日に来県。麻生護知事は「友達をたくさんつくって、福岡と皆さんの国との交流の架け橋になってほしい」と呼びかけた。

マスコミ取材等

▼西日本新聞 2008.7.16



重さ約1トンの山笠を担ぐサニックスブルースのスタッフや住民たち

ラグビー選手ら
追い山盛り上げ
宗像で大島祇園山笠
県内最大の離島、宗像
市の大島で十五日、漁業
の安全と豊漁を祈願する
大島祇園山笠の追い山が
あった。島民に加え、海
外にある県人会の会員の
子どもたち、同市が本拠
地の社会人ラグビーチー
ム「福岡サニックスブル
ース」の選手たちが初参
加。島挙げての祭りをい
つそう盛り上げた。

来県した南米四万国と采
国出身の十一、十二歳の少
年少女や県人会から招か
れた留学生ら二十八人。
フルースからは選手、ス
タッフ計八人が訪れた。
追い山は午後二時す
ぎ、島の宗像大社中津宮
前をスタート。子ども用
の山笠に続き、真っ赤な
タイと浦島太郎という、
島ならではの二つの飾り
山が、海沿いの通りを駆
けると、沿道からは勢い
水と熱い声援が送られ
た。

【テレビ】

報道機関名	放映内容	備考
TNCテレビ西日本	知事表敬や福岡市内見学、日本文化体験、ホストファミリーとの交流	
RKB毎日	和太鼓少年グループとの交流	
TVQ九州放送	大島小学校との交流	福岡県広報番組
ケーブルステーション福岡	和ごま少年グループとの交流	

【広報誌】

広報誌名	掲載内容	発行元
グラフふくおか (2008年秋号)	日本ブラジル交流年の特集記事の中で子弟らの県知事表敬の様子を掲載	福岡県
こくさいひろば (2008年8月号)	県知事表敬や和太鼓少年グループとの交流の様子を掲載	(財)福岡県国際交流センター



2008.7.12~24

Short Term Visit Program for
Young Descendants of Immigrants
from Fukuoka Prefecture